

PAT-NO: JP406040485A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06040485 A
TITLE: CHEESE PACKAGING MATERIAL
PUBN-DATE: February 15, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SUGIMOTO, TATSURO	
TAKITA, YASUHIKO	
AIZAWA, SHIGERU	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NITSUKAN KOGYO KK	N/A
MEIJI MILK PROD CO LTDN/A	

APPL-NO: JP04189622
APPL-DATE: July 16, 1992

INT-CL (IPC): B65D085/76 , A23L003/00

US-CL-CURRENT: 426/130

ABSTRACT:

PURPOSE: To remove film in a straight line from cheese package so as to prevent the contact of air with the remaining block cheese by using the plastic film coated with the thermoplastic resin adherent to the surface of block cheese and having the property of freely tearing in one direction according to the molecular orientation.

CONSTITUTION: The plastic film 1 for use as the cheese packaging material has one side intended for contact with block cheese coated with a wax mixture 2 consisting of an adherent thermoplastic resin, to which a coat of corn starch 3 is applied as a blocking preventive material. As for the plastic film 1, any one of polyethylene, polypropylene and polyester having the property of easily tearing in one direction according to the molecular orientation is used. As to the thermoplastic resin, the one containing 10-40 pts.wt. polyisobutylene, 10-30 pts.wt. polyethylene, 10-40 pts.wt. paraffin wax and 20-50 pts.wt. micro-crystalline wax is used.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-40485

(43)公開日 平成6年(1994)2月15日

(51)Int.Cl.⁵

B 6 5 D 85/76

A 2 3 L 3/00

識別記号

序内整理番号

7445-3E

A

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数4(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-189622

(22)出願日 平成4年(1992)7月16日

(71)出願人 591225545

ニッカン工業株式会社

東京都目黒区大岡山1丁目35番22号

(71)出願人 000006138

明治乳業株式会社

東京都中央区京橋2丁目3番6号

(72)発明者 杉本 達郎

東京都目黒区大岡山1丁目35番22号 ニッ

カン工業株式会社内

(72)発明者 滝田 靖彦

東京都中央区京橋2丁目3番6号 明治乳

業株式会社内

(74)代理人 弁理士 井出 直孝 (外1名)

最終頁に続く

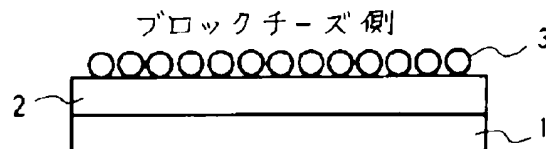
(54)【発明の名称】 チーズ包装材料

(57)【要約】

【目的】 プラスチックフィルムにより包装されたブロックチーズをナイフでカットするときに、カットする部分だけを直線的に抵抗なく裂けるようにする。

【構成】 ブロックチーズの表面に密着する熱可塑性樹脂がコートされたプラスチックフィルムにより構成されたチーズ包装材料において、プラスチックフィルムを分子配列にしたがって一方向に裂けやすい性質の材料により構成する。

【効果】 ブロックチーズの必要とする部分のプラスチックフィルムを直線的に取り去ることができるために、保存する部分は密着状態で残され、外気に触れることにより鮮度が落ちることを防止することができる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ブロックチーズの表面に密着性のある熱可塑性樹脂が少なくとも片面にコートされたプラスチックフィルムによるチーズ包装材料において

前記プラスチックフィルムは、分子配列にしたがって一方向に裂けやすい性質を有することを特徴とするチーズ包装材料

【請求項2】 前記プラスチックフィルムは、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステルの内の一である請求項1記載のチーズ包装材料

【請求項3】 前記熱可塑性樹脂は、ポリイソブチレン10ないし40重量部、ポリエチレン10ないし30重量部、パラフィンワックス10ないし40重量部、マイクロクリスタリンワックス20ないし50重量部を含む混合物である請求項1記載のチーズ包装材料

【請求項4】 請求項1ないし3のいずれかに記載のチーズ包装材料により、前記分子配列の方向が開封方向と一致するように包装されたことを特徴とするブロックチーズ

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は食品であるブロックチーズ（チーズのかたまりをいう）およびその包装に関する。

【0002】

【従来の技術】ブロックチーズの包装材料として、ブロックチーズの表面に密着性のある熱可塑性樹脂がコートされたプラスチックフィルムを用い、ブロックチーズの表面に外気が触れないように密着させて包装する技術が知られている。これは販売流通ルートでチーズの変質を避けその鮮度を保つために有用な優れた技術であって、製造工程が簡単であり価格を低廉に維持できることから広く利用されている。

【0003】一般に、チーズを直接的に包装する材料は、方向性が無い防湿加工されたセロハン、あるいはプラスチックフィルムにアルミ箔や紙をラミネートして防水性、防湿性、ガスバリアー性、およびヒートシール性を与えるために樹脂やワックスをコーティングしたものが用いられる。

【0004】熱によって溶融するワックス混合物を防湿セロハンの片面に塗布したものは、透湿度は $8 \text{ g} \cdot \text{m}^2 \cdot 24 \text{ 時間}^{-1}$ 以下であり、ヒートシール温度は70℃以下である。この種のものは常温加圧シールを行うことが可能であり、さらにチーズとの密着性に優れており、チーズを直接に包装するのに充分適している。

【0005】このような包装材料により包装された200g前後の一般家庭向けの小型チーズは、一度にすべてを食されることは少なく、そのために必要とされる量がその都度ナイフによりカットされて用いられている。

【0006】

2

【発明が解決しようとする課題】前述した従来のブロックチーズを包装するプラスチックフィルムには方向性がないため、必要とする部分だけを剥き取ってナイフによりカットしようとする、保存しておく部分までプラスチックフィルムが剥き取られることがあり、この場合チーズブロックの表面が直接外気に触れて鮮度を落とす要因となる。また、プラスチックフィルムにより包装されたままの状態でもカットしようとする、方向性が合致しないためカットされずにブロックチーズに食い込むか、あるいはカットされても直線的にならずプラスチックフィルムの一部がブロックチーズの表面に残される問題がある。

【0007】本発明はこのような問題を解決するもので、ブロックチーズをナイフでカットするときに、カットする部分だけを所定方向に直線的に抵抗なく裂けるようにして、保存する側の表面にはプラスチックフィルムが密着状態で残され、外気に触れて変質することを避けることができるチーズ包装材料を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、ブロックチーズの表面に密着性のある熱可塑性樹脂が少なくとも片面にコートされたプラスチックフィルムによるチーズ包装材料において、前記プラスチックフィルムは、分子配列にしたがって一方向に裂けやすい性質を有することを特徴とする。

【0009】前記プラスチックフィルムは、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステルの内の一であり、前記熱可塑性樹脂は、ポリイソブチレン10ないし40重量部、ポリエチレン10ないし30重量部、パラフィンワックス10ないし40重量部、マイクロクリスタリンワックス20ないし50重量部を含む混合物であることが望ましい。

【0010】本発明のもう一つの観点はブロックチーズであり、前記のチーズ包装材料により、前記分子配列の方向が開封方向と一致するように、かつコート面がチーズに接するように包装されたことを特徴とする。

【0011】

【作用】ブロックチーズの表面に密着する熱可塑性樹脂がコートされたプラスチックフィルムを分子配列にしたがって一方向に裂けやすい性質の材料により構成し、ブロックチーズを分子配列の方向が開封方向と一致するように包装する。

【0012】これにより、必要とするブロックチーズ上のプラスチックフィルムを直線的に裂くことができ、保存する部分にはプラスチックフィルムが密着状態で残され、外気に触れることによる鮮度の低下を防止することができる。

【0013】

【実施例】次に、本発明実施例を図面に基づいて説明す

50

る。図1は本発明実施例におけるチーズ包装材料の構成を示す拡大断面図、図2は本発明実施例におけるチーズ包装材料を使用したブロックチーズのバック状態を示す斜視図である。

【0014】本発明実施例チーズ包装材料は図1に示すように、プラスチックフィルム1のブロックチーズに接する側の表面に密着性のある熱可塑性樹脂により構成されたワックス混合物2がコートされ、さらに、その上にブロッキング防止材料としてコーンスターチ3が塗布される。

【0015】プラスチックフィルム1は、分子配列にしたがって一方に裂けやすい性質を有し、その材料としてはポリエチレン、ポリプロピレン、またはポリエステルのいずれかが使用される。

【0016】また、ワックス混合物2を構成する熱可塑性樹脂は、ポリイソブチレン10ないし40重量部、ポリエチレン10ないし30重量部、パラフィンワックス10ないし40重量部、マイクロクリスタリンワックス20ないし50重量部を含む。

【0017】図2に示すように、このように構成されたチーズ包装材料5によりブロックチーズ4は、分子配列の方向が開封方向Aと一致するように包装される。

【0018】具体例として、低分子量（分子量10、000以下）のポリイソブチレン10重量部、高分子量 *

*（分子量10、000以上）のポリイソブチレン30重量部、ポリエチレン10重量部、パラフィンワックス25重量部、マイクロクリスタリンワックス25重量部からなる混合物を130℃で溶融し、東レ株式会社製のポリプロピレンフィルム（トレファントロ・YT-22）の片面に、ロールコーターを用いてコーティングしたのち、ブロッキング防止材としてコーンスターチを表面に塗布したものを作成し、直線的な裂け性の実験を行った。同時に、比較例として防湿セロハンの片面に前記のワックス混合物を塗布したものの実験を行った。その結果を表1に示す。

【0019】さらに、このようにして得られたチーズ包装材料5に、70℃に加熱したチーズを充填した後、加熱密封装置を用いて密封して冷蔵庫で冷却し、図2に示す形状にブロックチーズを包装し、直線的な裂け性および一般特性を前述の比較例材料とともに測定した。その結果を表2に示す。

【0020】表1および表2からわかるように、分子配列方向に一致する開封方向に対してはすぐれた直線性を示し、さらに、包装状態においてはすぐれた防湿性および低温シール性を示した。

【0021】

【表1】

		実施例	比較例
		トレファンBO #25・YT-22 の片面にワックス混合物を 塗布したもの	両面防湿セロハン #350 の方面にワックス混合物を 塗布したもの
厚さ（μ/1枚）		115～112	114～110
耐破度（Kg/cm ² ）		4.1	3.2
抗張力 （Kg/15mm巾）	縦	1.9	4.0
	横	10.2	2.5
引裂強度 （g/16枚）	縦	24	17
	横	12	22
手による裂け性	縦	不良	やや良好
	横	きわめて良好	やや良好
直線的な裂け性	縦	不良	やや良好
	横	きわめて良好	やや良好

【0022】

* * 【表2】

		実施例	比較例
厚 さ (μ / 1 枚)		115~112	114~110
直線的な裂け性	縦	不良	やや良好
	横	きわめて良好	やや良好
透湿度 ($g / m^2 / 24 hr$)		5~6	7~8
ヒートシール温度 ($^{\circ}C$)		53	55
ヒートシール強度 ($g / 20mm$ 巾)		480	450
基材フィルムと ワックスとの密着性		良好	良好

【0023】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、ブロックチーズ上の任意の位置のプラスチックフィルムを直線的に容易に裂くことができ、そのために、保存するブロックチーズ上のプラスチックフィルムは密着状態のまま残され、使いかけのチーズブロックが外気に触れることによって生じる鮮度の低下を防ぐことができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

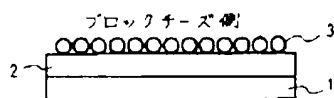
【図1】本発明実施例におけるチーズ包装材料の構成を示す拡大断面図。

※【図2】本発明実施例におけるチーズ包装材料を使用したブロックチーズのバック状態を示す斜視図。

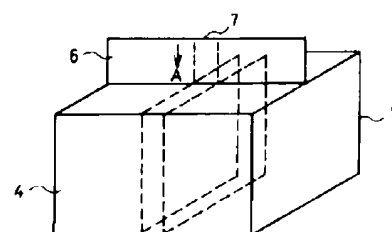
【符号の説明】

- 1 プラスチックフィルム
- 2 ワックス混合物
- 3 コーンスターチ
- 4 ブロックチーズ
- 5 チーズ包装材料
- 6 シール部
- 7 切り始め部

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(72) 発明者 相沢 茂
東京都中央区京橋2丁目3番6号 明治乳
業株式会社内